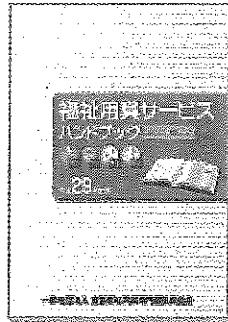


ふくせん

「福祉用具サービスハンドブック」

担当者会議・用語編 発行



全国福祉用具専門相談員協会(菅元文雄理事長)はこのほど、手帳サイズ(A6判、40頁)の「福祉用具サービス」に役立つ代表的な専門用語を解説した。医療に関する傷病名(32項目)、障がい・症状名(28)、療法・指標(19)など、介護保険制度関係(11)、リハビリテーション関係(9)の計99項目を数行でわかりやすく説明している。福祉用具専門相談員の基礎知識として役立つ。

成田すみれ氏の監修で、サービス担当者会議や在宅サービスを提供する際に役立つ代表的な専門用語を解説した。医療に関する傷病名(32項目)、障がい・症状名(28)、療法・指標(19)など、介護保険制度関係(11)、リハビリテーション関係(9)の計99項目を数行でわかりやすく説明している。福祉用具専門相談員の基礎知識として役立つ。

つ。昨年には、「福祉用具サービスハンドブックお薬編」(代表的な疾病と薬剤の解説)を発行している。

価格は、どちらも700円(会員500円、ともに税・送料別)。送料は、税込で5冊まで280円、6冊以上432円。申込みは、社会保険研究所(TEL:03・39252・7901、FAX:03・3252・7977)まで。